

2000

秋期号



佐賀

会報誌

# 葉がくれ LC

337-C地区 ガバナー L小鳥居 衷 提言

「二十一世紀を拓く明るい愛の奉仕」

第31代会長 L龍野 敏郎 スローガン

「友愛と和の奉仕」

## 栄の国まつり事業バザー

(8月4日(金))



## We Serve

## 六役一丸となって奉仕に満身・

努力いたします。会長 L 龍野 敏郎



第31代執行部の発足に当り、ご挨拶を申し上げます。

前小部執行部は我がクラブの大きな節目でありました30周年式典を無事成功に終了され、且つまた、台北市第一中央獅子会との締結30周年も台北市に於いて盛大な中、立派にやり遂げられました。これ等は前会長の懸命の努力と会員の皆様の惜しまないご協力の賜と思っております。

さて、私共は来年6月末までの1年間を松澤幹事を筆頭に六役一丸となって諸事業と奉仕に満身努力致す覚悟でございます。又、クラブ内に於いては、本田ライオンをZ・Cに、野口ライオンを地区Y・E委員に選出されております。お二人のライオンが充分ご活躍されます様に、会員皆様のご協力もよろしくお願いいたします。

私は会長として「友愛と和の奉仕」をスローガンにしております。

20世紀より21世紀に向かう意義深いこの一年間、会員の皆様の温かいご支援とご協力を賜りクラブの発展と栄光のために浅学非才の身ではありますが一生懸命頑張る所存でございます。どうか会員皆様方、相互理解の精神でご指導の程お願い致します。

最後になりましたが会員皆様の事業の発展とご家族一同様の恒久のご多幸をお祈りして就任のご挨拶と致します。

## 会員増強・目標達成を

幹事 L 松澤 義博



31代幹事をお引受けいたし、はや四ヶ月をすぎました。

会長L龍野敏郎の元（スローガン「友愛と和の奉仕」）、5役の皆さんと力を合わせてまいります。

会員皆さんの協力を得まして理事会、例会を進めてまいります。

尚、本年度も特に会員増強に力を入れ、目標達成にぜひ会員皆様のご協力をお願いし又、各委員会活動を進めクラブ活性化に努力致し度く存じます。

10月13日のカバナ公式訪問合同特別例会もクラブの皆さんの一致団結による力で無事終了する事ができました。執行部一同心よりお礼申し上げます。

会長のもと、残された任期の役目を果たしたく存じます。どうか宜しく願い申し上げます。

(有)三島水道工事店

三島 健

佐賀郡諸富町為重815  
TEL0952-47-2172

(有)参陽堂企画印刷

石井 正人

佐賀市神園5丁目10-1  
TEL0952-31-3123

(株)モトシマ

本島 廣幸

佐賀市巨勢町大字修理田1201  
TEL0952-25-3652

# 健・康・寿・命

会計 L千住文彦



テレビでくぎづけになったシドニーオリンピックの興奮も冷めやらぬ中、ダイエーが2連勝を果たし、サガントスの順位も気になるなど、スポーツが私たちの生活を豊かにしていることは確かです。しかし、何かもの足りないとは思いませんか。スポーツとは、もともと身体を動かして楽しむものだったはず。それが見るスポーツオンリーになっているのではありませんか。

日本人の平均寿命は世界一を維持しています。これもただ長生きするだけでよいでしょうか。今、健康寿命を延ばそうという運動が興ってきました。生涯現役で長寿を保とうということです。(生涯現役とは死ぬまで人の役に立つ)。

成人病ということばが使われなくなりました。従来成人病といわれた癌、脳血管損傷、心臓病、糖尿病などは、若い時からの生活習慣が身体の中に堆積して起こることが解ってきたから、生活習慣病と呼ばれています。その生活習慣の中で大事なものは食事と運動で、中高年齢層の運動不足こそが一番の問題とされています。NHKと郵政省は“みんなの体操”を創って普及に務めています。

自分の生活環境に取り入れられる身体運動を見つけ、健康寿命を延ばす努力をしてはどうですか。

## 佐賀県アイバンク協会 理事長 沖波聡氏より謝辞

三献推進 L井手忠治

2000年10月13日(金)午後4時10分 マリトピアに於いて、337-C地区ガバナーL小鳥居衷を迎え、記念事業贈呈式が行われ、IR2Z Z・C L本田茂昭より佐賀県アイバンク協会理事長 沖波 聡氏へ事業活動資金として金一封が贈呈された。

これに対し理事長よりお礼の謝辞がなされ、佐賀県下では4名が角膜移植手術を受けており、21名が移植を待っている。ライオンズクラブのより一層の御協力をお願いしたいとの挨拶がなされた。又、カバナーより角膜移植の重要性は十分認識している。ライオンズクラブは目の不自由な人のために、奉仕活動をすると共に世界から失明者を無くす運動を展開していきたい旨の挨拶がなされ午後4時30分閉会となった。



(有)あらお花店

荒尾 彰

佐賀市与賀町4-25  
TEL0952-23-8782

北方町商工会

永田英二郎

杵島郡北方町大字志久1662  
TEL0954-36-2111

(有)蓮池衛研工業

緒方 芳信

神埼郡千代田町余江122  
TEL0952-44-4111

## 台北第一(中央)国際獅子會姉妹締結バナー贈呈について

L 西岡辰巳 (前 幹事)

姉妹クラブ締結時に台北市第一(中央)国際獅子會より当クラブへバナーを贈り、友好のあかしとして30周年を記念して当クラブより贈呈致しました。



## 姉妹クラブさようならパーティーの一コマ

第二副会長 L 石井 巽

両クラブ会長の挨拶に始まり盛大な歓送会になり次々と美味しい料理が運び込まれるなか、私の両サイドには台北獅子会のメンバーがおられ日本語も堪能な獅兄でした。右側の獅兄に名刺は差し上げましたが自分はないとのことで名乗られました名前を覚えてない。

その獅兄の話によると16才まで日本の教育を受けたとのことで今年で70才になるとのことでした。その獅兄から「佐賀に葉隠という地名があるのですか?、葉に隠れるとは変な地名ですね」「いえ、地名ではありません」「では、どういう意味ですか」「佐賀に(葉隠という武士道の書)があり、そこからクラブ名をとってます」と言って一瞬“ドキッ”とした。

というのは戦争中「武士道とは死ぬことと見つけたり」と葉隠を戦意高揚に教育の場でも使われた、嫌な思い出がある人もいらっしゃるかもわからない。今では葉隠四誓願が有名だけれども、葉隠研究会のある先生は葉隠ほど得体の知れない書はない。哲学・倫理・宗教・教育・随筆・等々、葉隠を語るにはあまりにも奥が深いと思う。時間もない、そういう私が知識がない、外国の方には理解できないのではなからうか。

亦、どういう経緯で「佐賀葉がくれライオンズクラブ」と名がついたのかも知らない(勉強不足で申し訳ありません)。ところで、件(くだん)の獅兄「ああ、そうですか」で、

“ほっ”とした次第。

最後になりましたが成立47周年及び30周年締結記念式典は大勢の方々の出席のなか厳粛に挙行され、我クラブを代表してL小部 功会長が堂々と祝詞をのべられ拍手喝采だった事を会員諸兄にご報告申し上げます。



## (有) 谷田建設

谷田 政行

佐賀郡大和町久留間3180-4  
TEL0952-62-7888

発行日 平成12年10月27日

編集 PR委員会

L 石井正人、L 宮島直輔、L 藪内郁夫

発行 佐賀葉がくれライオンズクラブ

〒840-0831 佐賀市松原商工会館

TEL0952-26-6198

FAX 26-0950